

平成22年度流域管理推進アクションプログラム実施メニュー

主な重点項目	No	流域名	森林管理署等	取組名 (新規・継続・拡充)	実施場所	実施時期	関係機関	取組の概要
計画的な木材供給の推進	1	後志胆振	後志署	流域内での間伐材の利用促進(継続)	後志署管内	4月～3月	活性化協議会	○活性化協議会の事業へ協力・参加していくとともに、国有林野事業の治山・林道事業等での間伐材等木材利用の推進を進める
林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成	2	後志胆振	後志署	林道事業体の育成(継続)	後志署管内	4月～3月	なし	○林業労働力の確保、林業事業体の経営基盤の強化を図るため、事業量の計画的・継続的発注に努める
林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成	3	後志胆振	後志署	民有林と連携した技術検討会の実施(拡充)	後志署管内	10月	活性化協議会	○後志胆振流域森林・林業活性化協議会が、道有林と国有林のフィールドを利用し、関係行政機関や関係市町村の林業関係者を交えた現地視察や現地検討会を実施することにより、林業技術についての意見交換を行い情報の共有化を図る
林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成	4	後志胆振	後志署	森林施業モデル林の活用について(継続)	有珠山北面国有林	10月	活性化協議会	○国有林の森林施業モデル林を利用し、民有林関係者を招いた現地検討会を開催し情報の共有化を図っていく
森林施業の効率化・共通化等の取組	5	後志胆振	後志署	低コスト・高効率な作業システムの普及(継続)	後志署管内	6月～10月	活性化協議会	○国有林が持っている低コスト・高効率な作業システムの情報を林業関係者へ提供し、流域内の普及に努める
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	6	後志胆振	後志署	地元と連携した北限ブナ林の再生プロジェクト(継続)	西の沢国有林	4月～3月	黒松内岳ブナ林再生プロジェクト実行委員会	○森林整備協定締結に基づいた地域ボランティアの活動を指導・協力していく
上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	7	後志胆振	後志署	国有林フィールドを活用して地域活性化へ(継続)	後志署管内	4月～3月	他官庁・市町村等	○他官庁や市町村等が行う事業の情報収集を行い、国有林が地域経済発展に寄与していくよう協力する
生物多様性保全に配慮した取組の推進	8	後志胆振	後志署	大平山における多様な森林生態系の保全(継続)	大平山石灰岩植物保護保護林	4月～3月	大平山高山植物保護対策協議会	○当該地域は希少な植物が多く見られる。近年増加した登山者による踏み荒らしや盗掘問題が生じていることから、協議会等と協力・連携し、保護管理に努める
生物多様性保全に配慮した取組の推進	9	後志胆振	後志署	「洞爺湖・中島」森林生態系保全・再生対策の推進(継続)	中島国有林	6月～3月	洞爺湖中島のエゾシカ対策協議会、観光協会	○当該地域はエゾシカ食害により森林生態系に影響を与えるなど、問題が生じていることから森林機能の回復等を図る方法を模索するため、引き続き協議会等と協力し植生等の調査を実施する
生物多様性保全に配慮した取組の推進	10	後志胆振	後志署	歌才植物群落保護林における保護林保全対策の推進(継続)	歌才植物群落保護林	4月～3月	黒松内町	○当該保護林は、近年、入り込み者の増加により、歩道周辺の生育環境の悪化が見られることから、階段工等の設置等を行うなど、林内植生の保全管理に努める
安全・安心への取組	11	後志胆振	後志署	有珠山治山事業(新規)	有珠山国有林	4月～12月	他官庁・市町村等	○平成12年の噴火後における、有珠山の復旧、防災事業については、国有林治山事業で実施しており、関係機関・市町村等への情報を行うなどの取組を実施する